

eラーニング普及へ向けた WebClass 自学自習用オープンコースの作成

情報メディア部門／医歯薬学総合研究科 西田孝洋

1. 目的

長崎大学情報メディア基盤センターでは、全学的な教育用 LMS (Learning Management System) として、平成 19 年度より、WebClass (ウェブクラス社) の試行を開始した (長崎大学 WebClass : <http://webclass.cc.nagasaki-u.ac.jp/>)。しかしながら、開設されている授業コース数はまだ少なく、既製のコンテンツも購入していないため、学生が e ラーニングに定着する環境が整備されているとは言い難い。

そこで、e ラーニング普及の第一段階として、自学自習用のオープンコースが必要と考え、全学的に共通な情報教育、統計解析、科学英語、さらには薬剤師国家試験対策に関して、我々がこれまでに蓄積した独自のコンテンツに基づいて、自学自習用オープンコースを WebClass 上に作成し、運用を開始した。

2. 方法

これまでに作成した授業用などのコンテンツ (講義ノート、プレゼンテーション、演習コンテンツ、ドリルテストなど) に関して、全学的に利用可能なものについては、WebClass 用のオープンコースとして、WebClass に登録された長崎大学の学生ならば誰でも受講登録できる形式で、三つのオープンコースを学内公開した。

(1) 情報リテラシー自主演習コース (図 1)

- Word、PowerPoint (図 2)、Excel、Access の自主演習用課題、情報系科目の講義ノート・プレゼン、情報セキュリティ・モラルのドリルテスト、Tips 集

(2) 科学英語自主学習コース

- 科学英語の reading 問題、重要英単語のリスト、科学英語ボキャブラリードリル

(3) 薬剤師国家試験自主学習コース

- 過去の薬剤師国家試験の自習ドリル (図 3)、計算問題の解説、薬剤師国家試験関連科目の講義資料

Information Media Center Annual Report 2008

メンバーへのお知らせ

Wordレポート演習とPowerPoint応用演習を更新(5/9)
スキルTipリンク集更新(9/19)
Word脚注・見出し演習をup(9/4)

会議室 top

- スキルTipリンク集 最新記事 西田 孝洋 2007-09-19 06:09:45 学習履歴[11]
- 情報セキュリティ・モラルリンク集 最新記事 西田 孝洋 2007-09-28 11:09:41 学習履歴[9]
- 勉強の方法(情報リテラシー自主演習) 最新記事 西田 孝洋 2007-06-12 02:06:42 学習履歴[1]
- 質問箱(情報リテラシー自主演習) 最新記事 西田 孝洋 2008-05-09 14:30:51 学習履歴[3]

解説 top

- 情報リテラシー共有講義ノート用子2008 学習履歴[8]
- 情報処理入門講義ノート用子2008 学習履歴[3]
- WebClass, Eメール 備忘録 学習履歴[3]
- Office 2007での操作手順 学習履歴[1]
- Word基礎演習「情報処理入門」 学習履歴[3]
- Wordレポート演習「応用情報処理」2008 学習履歴[1]
- Word脚注・見出し演習「講習会」 学習履歴[1]
- PowerPoint基礎演習「情報処理入門」 学習履歴[0]
- PowerPoint応用演習「応用情報処理」2008 学習履歴[0]
- Access基礎演習「応用情報処理」 学習履歴[2]
- Excel基礎演習「情報処理入門」 学習履歴[8]
- Excel応用演習「応用情報処理」 学習履歴[4]
- Excel統計基礎演習「薬効検定法」 学習履歴[3]
- Excel統計検定演習「薬効検定法」 学習履歴[0]

テスト/アンケート top

- ネットワークセキュリティ・モラル練習問題 [成績] 学習履歴[1]
- 合格率 [15点]

図1 情報リテラシー自主演習
コースの画面

図2 PowerPoint 演習コンテンツ
の画面

Question - Windows Internet Explorer

http://webclass.cc.nagasaki-u.ac.jp/webclass/qstn_frame.php?md=7c1cc&set_contents_id=26db4c5e6a066e381ccf69276834f1f8&language=JAPANESE&useragent=OTHER&sess_id=900640f3

> ログアウト > コース選択 > 薬剤師国家試験自主学習 > テスト/アンケート

ADME (22 93回, 10 of 70)

[前へ] 次へ
しおりにつけて閉じる
採点

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

(84回-問155) 次の図は薬物のタンパク結合実験の結果をプロットしたものである。次の記述に関して、正しい文章にチェックを入れよ。ただし、図中の r は結合形薬物濃度/タンパク濃度の比、 C_t は非結合形薬物濃度を表す。

図1

図2

> 拡大

- 図1は、Scatchardプロットと呼ばれる
- 図1から、この薬物のタンパクに対する結合部位数は1.0である
- 図1から、この薬物のタンパクに対する結合定数は 10 ?M^{-1} である
- 他の薬物によりタンパク結合の競合的な阻害があった時は、図2破線のようなになる

(1)

[前へ] 次へ
しおりにつけて閉じる
採点

図3 薬剤師国家試験の自習ドリル

3. 成果

平成 19 年 4 月より自学自習用オープンコースの運用を始めて、平成 19 年度においては、以下のコース登録者および総アクセス数の情報を得ている。

- (1) 情報リテラシー自主演習コース（受講者数：126 名、総アクセス数：1472 回）
- (2) 科学英語自主学习コース（受講者数：301 名、総アクセス数：2719 回）
- (3) 薬剤師国家試験自主学习コース（受講者数：312 名、総アクセス数：7513 回）

長崎大学薬学部の学生を中心に、オープンコースの周知を行ったため、受講登録者数はまだ少ないものの、アクセス数は高いと考えられる。長崎大学薬学部の薬剤師国家試験合格率は、ここ数年は全国平均を下回っていたが、今年度は上回り、薬系国立大 14 校中で 3 位という好成績を収めた。長崎大学薬学部現 4 年生のアンケートでは、ほぼ 9 割の学生が WebClass 自主学习コースを活用したいと回答した。したがって、自学自習の薦め、e ラーニング定着に微力ではあるが、オープンコースが貢献していると思われる。

4. 期待される効果

WebClass では、他コースへのリンクやコピーを活用して、他の教員と簡単に授業用コンテンツを共有することができるため、情報処理入門などの講義に関するコンテンツ共有が、このようなオープンコースで推進されることを期待している。既に、長崎大学薬学部内では、情報系教員の間でコンテンツ共有が成功している。さらに今後は、オープンで利用できるコンテンツがあることで、e ラーニングを導入する教員が増える可能性も期待できる。

5. 今後の課題

自学自習用オープンコースのコンテンツの充実が優先課題であるが、自学自習をサポートするメンターも必要と考えられる。さらに、自学自習用オープンコースをもっと全学的に周知させて、全学的な授業コンテンツ共有を推進していきたい。